



**KAGAWA  
DOYUKAI**

時代を切り拓いた企業家たち  
～40年の歩み～

since1976

雑  
観

5  
CHAPTER

入会して一番よかったことは仲間が増えたことです。自社には両親も先代もいないので、経営の相談相手がいませんでした。経営の相談相手が一度に何百人もできたことが私としては非常に有り難いことです。

来期中讃第1支部の支部長を継続してさせていただくことになりました。その中で、支部会員のみなさんからいろんな勉強をさせてもらっています。

一つの支部、グループであれ、長であるということは、会社も同じで社長の立場だとどのような考え方や振る舞いをしなければならないのかを今、非常に勉強させてもらっています。まだまだ未熟ですが頑張っています。



中讃第1支部 (有)佐藤段ボール工業所 代表取締役 森崎 晶子



同友会では人のご縁をとっても強く感じますし、また有り難いと思っています。私は屋島のご縁ができたのがきっかけで入会させていただきましたが、このご縁が大事だと思っています。

高松第7支部 (有)ホテールハウス/㈱毘沙門天商事 取締役 薦瀨 雅春

いろんな人と交流ができ、みんなが明るく元気になって大きく育っていきところが同友会のいいところだと思います。



高松第1支部 (株)クロダ 代表取締役 廣重 博司

共同求人責任者になって、いろんな人たち、学校の先生などとお会いするときに、ひとりの会員だけではなく会の代表であるということ意識が自然に変わってきました。

やはり自分たちの共同求人が地域の活性化のためにも本当に役に立っているのだと思います。ただ悲しいかな、中小企業ということもあり、会全体の代表として多くの場でPRがなかなかできていません。

今後はできるだけ露出を高め、地元に残るということをひとりでも多くの学生さんを始め、先生や親御さんに考えていただき、香川県の人口減少の歯止めを、我々が同友会を代表して取り組むという意気込みで今年にはさらに進めたいと思っています。



高松第1支部 三宅産業(株) 代表取締役社長 三宅 慎二

私の

A word of my learning ...

# 学びの一言

「あなたにとって、同友会は？」

学び、変化、良かった事などを会員の皆さんにインタビューしました!

※並びはインタビュー順です



同友会では人を大切にすることを学びました。これからも人を大切にしながら経営を進めていきたいと思っています。

高松第7支部 (株)植木センター廣瀬 代表取締役 廣瀬 雄二

同友会に入会してたくさんのご縁をいただきました。ほんとうに入ってよかったと思っています。今後もみなさん、一緒に活動していきましょう。



高松第1支部 建生興業(株) 代表取締役 公文 健二

三豊支部の中でいい仲間ができ、一緒に地元を盛り上げていけるのが嬉しいです。

僕自身、どちらかというと職人タイプだったのですが、人と人との繋がりを生かして、いい会社にしたいという意識が芽生えてきたのが入ってよかったことだと思います。



三豊支部 西部製綿(株) 店長(後継者) 石川 克幸

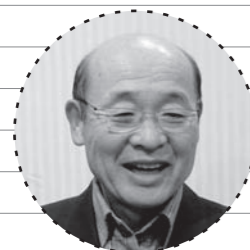
僕は経営のけの字も知らなくて、一から学ばせていただきました。それを実践することによって今があります。

目的と手段を間違えないように、目的は香川が輝くようにするのが目的で、その中で同友会で学んで実践して、我々が輝くことが手段だと思います。

みなさんと一緒にそういう仲間をたくさん集めて一緒に学んでいきましょう。



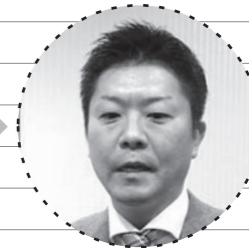
高松第1支部 (有)たもや 代表取締役 黒川 保



一番よかったのは、経営指針を創る会で、自分の経営の芯になるようなものが創れたことです。  
これが一番よかったことです。同友会以外にあまりないことだと思いました。

高松第2支部 うえむら農園 代表 植村 隆昭

四十周年おめでとうございます。私たち中小企業家同友会は経営者や後継者、会社役員の集まりですが、どんな経営者でも日々の勉強が必要と考えています。  
また経営者の悩みは経営者しかわからないので、それを解決できるのが香川県中小企業家同友会のメンバーでもあり、志を同じくする仲間だと考えています。



高松第4支部 (株)ZERO 代表取締役 庄司 健二

若い人も年よりも関係なく、みんなが横一線で経営の勉強ができること。これが一番です。

東讃支部 (株)ほけん企画 代表取締役 中澤 篤史



駄目だった僕が、同友会のお蔭でいろんな出会いと叱咤激励を受け、自分自身を変えることができましたし、会社も変えることができました。ほんとうに本気で語り合える同友会さまです。  
ぜひとも同友会へ!!



中讃第2支部 (株)ビルド 常務取締役 吉田 尚樹

同友会に入って青年部というところと関わったのですが、独立するという私の中では大きな節目に必ず同友会があり、そこで学ばせていただいたことが今の全てにつながっています。  
仲間ができ、先輩ができ、師匠ができました。その全てが同友会があったからこそです。そのように思っています。

高松第4支部 (株)ライブイノベーション 代表取締役社長 松野 誠之



同友会のいいところは経営指針を創る会に参加し、理念を創り、会社の軸づくりができることが一番素晴らしいことだと思います。  
お世話になりました。ありがとうございました。

中讃第2支部 (株)日協堂医療機 代表取締役 喜井 規光



四十周年を振り返ってみると、同友会には女性が少なかったのですが、今は女性がほんとうに中心になって起業をしていますし、同友会の中も変わりました。  
青年部ができ、香川同友会も大きく躍進したと思います。

高松第8支部 (有)奈良企画 代表取締役 奈良 茂子



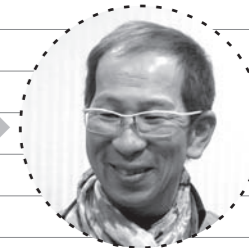
同友会のいいところは大勢の人たちと仲間になれたことだと思います。それからいろんな人がいるのでいろんな勉強をさせていただいています。

高松第4支部 ヨコタ二建築事務所 所長 横谷 信隆



同友会の魅力はいろんな企業のいろんな業種の方と知り合えることです。

高松第5支部 (有)River Field Flowers 取締役 河野 洋一





今年一年間グループ長をやらせてもらいましたが、正直私よりも若い経営者がとても多く、起業したり後継者の方たちが苦勞し、奮闘している姿を見てきました。  
私は苦勞のないまま代表者になったのですが、苦勞を乗り越えてはじめて経営者になれるような感じがします。そういう中で勉強をさせていただくことが同友会の魅力ではないかと思います。

高松第2支部 四国機電産業(株) 代表取締役 川西 和行

同友会では、まず友だちがたくさんできました。私は若いときから同友会に入っていますが、会社の経営は同友会で学びました。  
同友会では助け合う精神がみんなにあり、助けたり助けてもらったりがいっぱいあります。  
同友会に入会して悪いところは一切ありません。全ていいところばかりなので、いろんな友だちを同友会に誘いたいと思っています。

高松第1支部 豊栄自動車(有) 代表取締役 上枝 秀則



同友会のいいところは、素晴らしい人との出会いがあることです。これが何よりです。

中讃岐第2支部 島田治男建築設計事務所 所長 島田 治男

同友会は本気で会話ができるとてもいい会だと思います。今後ともよろしくお願いします。

高松第6支部 (有)トータルカーショップ シコクボデー 代表取締役 鴨井 輝人



私は同友会に入って長いのですが、やっぱり良い会社をつくらう。良い経営者にならう。良い経営環境をつくらう。この3つが基本だとつくづく思っています。頑張ります。

高松第1支部 デザイン工業(株) 代表取締役 小西 達也

入会して三十四年、思い出しますね。僕は事業計画書をつくるという発想を同友会で学びました。でもどうやってつくればいいのかわかりませんでした。そしたら全国の同友会の未来工業さんなどからサンプルが十数部送られてきました。それをバラして真似てつくったのがスタートです。もう三十年前のことです。

いろんなことを同友会で教わりましたね。とくに人との交わり、素晴らしい人たちとの交流が僕の力になった。でも一番力になったのは全国規模でのお付き合いで、その人たちを通じての世界からの情報や経営の喜びや苦しさが生で聞いたこと。

たったあれだけの会費ですから、びっくり仰天です。だからいろんな会に入っては辞めているけれど、同友会だけはずっと入っています。同友会はほんとうに誇るべき組織だと思う。僕は東京と両方に入っているので楽しくやらせてもらっています。

同友会に入ったきっかけは三宅産業の三宅会長の話を聞いたからです。その話を聞いて凄い会だと思いました。超おすすめの経営実践の集団なので、みんながその気になって求めたら成果はいっぱいだと思います。ぜひともみんなにエールを送って広げたいね。そういうことで頑張らましよう。

高松第2支部 (株)大坂塾 代表取締役 大坂 靖彦



同友会では役員をどんどん受けることと、会社が大きくなることと、全く同じようになります。会社が大きくなればなるほど役も大きくなるということです。

全研で大きな役を受けて私の会社も大きくなりました。ほんとうに役が育ててくれるので率先して役を受けるのがいいと思います。みなさんで育てていただいたこと、ありがとうございます。

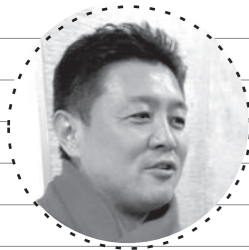
高松第9支部 (有)エスコートライフ 代表取締役 櫻原 貴仁



もともと僕は経営者になるための覚悟を持つために自ら入会しました。会歴五年ですが、今会社が存続しているのは同友会に助けられ、仲間たちに助けられたからです。  
まだまだ成長過程なので、これからもいろんな人に恵まれて成長していきたいと思っています。

高松第2支部 (有)藤田木工所 代表取締役 藤田 淳司





いいところは、仲間がいるので僕らは本気、本音で語り合え、会社経営にそれを生かせることです。語り合ったことをいいように利用できると思います。同友会はいい会だと思っています。よかったら参加してください。

高松第5支部 (有)生島興業 代表取締役 **木村 征司**

私が同友会に入ってよかったところは、会歴十年で休眠会員だった僕をお前なら頑張れる、やれるとってくれた人がいたことです。その人に見習って少しでも良い会社にしていきたいと考え、少しずつ変わっていったことです。

高松第4支部 (有)キムテック 代表取締役 **木村 裕士**



同友会に入ってまだ二年ぐらしか経っていませんが、入会してから熱い経営者の仲間ができました。自分自身が全人格的成長ができるのでこれからも同友会で活動したいなと思っています。

高松第4支部 (株)西山自動車 後継者 **西山 彰一郎**



私は会歴は浅いのですが、とにかく人との出会いと学びと実践がいっぱいあることです。ほんとうに学ぶことがたくさんあります。また出会いももの凄くあります。それをやるかやらないかはほんとうに自分次第だと思います。私は必ず持ち帰ってできることからやっいていこうと毎回思っています。それが会社に今、新しい風を吹き込んでいるのではないかと自負しています。まだまだ学んでいこうと思っていますのでよろしくお願ひします。

高松第7支部 (株)アロバー 国分寺店店長 **関本 亜紀**



同友会ではいい学びができます。会のみなさんとの絆はほんとに素晴らしいものです。それから会員増強で動いていると、会社にとってとてもいい学びができると思います。それを身をもって体験しました。

高松第1支部 (有)ファースト・コンサルティング 取締役 **渡邊 恵子**



同友会に入会してまもなく四年になりますが、その間いろんな方と出会い、経営の勉強をさせていただきました。新しい出会いと自分のやる気、モチベーションを上げてくれる人たちと一緒に、これからも頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。

高松第1支部 (株)UR 代表取締役 **植村 亮子**



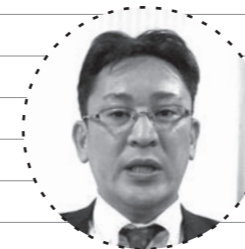
私が同友会に入ったきっかけは女性委員会からのお誘いです。実際に入ってみると女性委員会はほんとに楽しくて、みなさんのお蔭で楽しい仲間ができました。

高松第1支部 (株)リスクマネジメント 支社長代理 **中西 利枝**



同友会のいいところは、やっぱりたくさんの人と知り合えるところだと思います。これが一番いいところです。

高松第7支部 和泉潤税理士事務所 所長 **和泉 潤**



同友会のいいところは、雰囲気非常がいいことです。

高松第8支部 (株)宗家くつわ堂 専務取締役 **田村 正太郎**



同友会のいいところは本気、本音で話ができる仲間がいることです。

高松第5支部 (有)広野牧場 代表取締役 **広野 豊**



# パートナーとして

## 同友会運動の パートナーとしての原点

事務局 児嶋 敏希

二〇一五年は香川同友会が創立されてから四十年間の運動を経験してきました。その同友会運動を豊かに育んできた原点はすべて「労使見解」に帰着します。「労使見解」は中小企業経営（者）のバイブルであると同時に、同友会運動にとってもまたバイブルといつてよいものです。

特筆すべきことは、「労使見解」（中小企業における労使関係の見解）も発表（一九七五年一月）をして標記と同年数が経過して、全国の同友会に広がると同時に香川同友会の経験や教訓の原点や転機につながるものとなりました。

「労使見解」は経営者のあるべき姿勢として四つのことを問いかけています。

- ① 経営者の経営責任
- ② 成り行き任せでなく計画に基づく経営
- ③ 中小企業にとって社員は最も信頼し合えるパートナーであること

## ④ 経営を安定的に発展させるために外部経営環境の改善

同友会運動が会員（パートナー）の期待にこたえ、発展を続けるためには事務局の機能、役割が重要となります。事務局は会の実務だけを受け持つ単なる事務職とは違います。会の目的、理念を良く理解し、会の方針を役員、会員の皆さんと積極的に推進していく「良きパートナー」であることが最も大切です。この点を改めて確認と認識をして会員さんと共に再確認をして運動を推し進めたいと思います。

## 同友会運動に責任を 持てる事務局目指して

事務局 田岡 基広

四十周年誌発刊にあたり、「パートナーとして」の執筆依頼を受け、何を書こうかと悩みました。六年前の発病により第一線の組織担当からも外れ、自分自身が同友会運動を進めていく上でのパートナーとな

りえたかどうか甚だ疑問であります。

ただ、現在もこうして事務局員として、業務に携わらせていただけているのは、ひとえに同友会のおかげであり、会員みなさんのおかげだと思っております。

この場をお借りし、感謝申し上げます。

同友会では「経営者はいかに経営環境が厳しくとも経営の全責任をもち、経営者も社員も立場は異なっているけれども、同じ目標に向かって最も信頼しあえるパートナーとして協力していく関係作りが重要である」と言われています。

事務局員も同友会を取り巻く環境がいかに厳しくとも、同友会運動の全責任をもつて、事務局の本来の業務に注力し、会員みなさんが「人間尊重の経営」に取り組めるように努めていかなければならないと考えます。

まずは、一人ひとりの会員の声を受け止め、様々な経営課題もお聞きできるように、自分自身の問題意識とアンテナをより高くし、自発性と創意性を発揮し、同友会運動に生かしていくことができるように頑張っていきたいと思っております。